

エリスパン錠 0.25mg

【この薬は？】

販売名	エリスパン錠 0.25mg Erispan Tablets 0.25 mg
一般名	フルジアゼパム Fludiazepam
含有量	1錠中フルジアゼパム 0.25mg

患者向医薬品ガイドについて

患者向医薬品ガイドは、患者の皆様や家族の方などに、医療用医薬品の正しい理解と、重大な副作用の早期発見などに役立てていただくために作成したものです。

したがって、この医薬品を使用するときに特に知っていただきたいことを、医療関係者向けに作成されている添付文書を基に、わかりやすく記載しています。

医薬品の使用による重大な副作用と考えられる場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

ご不明な点などありましたら、末尾に記載の「お問い合わせ先」にお尋ねください。

さらに詳しい情報として、PMDA ホームページ「医薬品に関する情報」<http://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/0001.html> に添付文書情報が掲載されています。

【この薬の効果は？】

- ・この薬は、抗不安剤で、ベンゾジアゼピン系と呼ばれるグループに属する薬です。
- ・この薬は、脳が興奮している状態をしずめ、不安や緊張をやわらげるはたらきがあります。
- ・次の病気の人に処方されます。

心身症(消化器疾患、高血圧症、心臓神経症、自律神経失調症)における身体症候並びに不安・緊張・抑うつ及び焦躁、易疲労性、睡眠障害

- ・この薬は、体調がよくなったと自己判断して使用を中止したり、量を加減したりすると病気が悪化することがあります。指示どおりに飲むことが重要です。

【この薬を使う前に、確認すべきことは？】

- 次の人は、この薬を使用することはできません。
 - ・急性狭隅角緑内障の人
 - ・重症筋無力症の人
- 次の人は、慎重に使う必要があります。使い始める前に医師または薬剤師に告げてください。
 - ・心臓に障害のある人
 - ・肝臓や腎臓に障害のある人
 - ・脳に器質的な障害のある人
 - ・乳児、幼児
 - ・高齢の人
 - ・衰弱している人
 - ・中等度または重篤な呼吸不全のある人
- この薬には併用を注意すべき薬があります。他の薬を使用している場合や、新たに使用する場合は、必ず医師または薬剤師に相談してください。

【この薬の使い方は？】

●使用量および回数

飲む量は、あなたの症状などにあわせて、医師が決めます。
通常、成人の飲む量および回数は、次のとおりです。

販売名	エリスパン錠 0.25mg
1日量	3錠
飲む回数	1日量を3回に分けて飲みます。

●どのように飲むか？

コップ1杯程度の水またはぬるま湯で飲んでください。

●飲み忘れた場合の対応

決して2回分を一度に飲まないでください。

気がついた時に、1回分を飲んでください。ただし、次の飲む時間が近い場合は1回とばして、次の時間に1回分飲んでください。

●多く使用した時（過量使用時）の対応

異常を感じたら、使用を中止し、ただちに医師に連絡してください。

【この薬の使用中に気をつけなければならないことは？】

- ・眠気、注意力・集中力・反射運動能力などの低下がおこることがあるので、自動車の運転などの危険を伴う機械の操作は行わないようにしてください。
- ・この薬を続けて飲んでいくと、薬をたくさん飲みたい、薬がないといられない気持ちになるなど、薬物依存の症状があらわれることがあるので、長期間の使用は避けることとされています。このような症状があらわれたら、医師に連絡してください。また、この薬の量を急激に減らしたり、中止したりすることで痙攣発作、せん妄、振戦、不眠、不安、幻覚、妄想などの離脱症状があらわれることがあるので、この薬を中止する場合には、徐々に減量されます。この薬の飲む量、飲む期間については医師の指示に従ってください。
- ・妊婦または妊娠している可能性がある人は医師に相談してください。

- ・授乳を避けてください。
- ・アルコール飲料はこの薬に影響しますので、控えてください。
- ・他の医師を受診する場合や、薬局などで他の薬を購入する場合は、必ずこの薬を飲んでいることを医師または薬剤師に伝えてください。

副作用は？


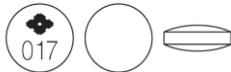
特にご注意ください重大な副作用と、それぞれの主な自覚症状を記載しました。副作用であれば、それぞれの重大な副作用ごとに記載した主な自覚症状のうち、いくつかの症状が同じような時期にあらわれることが一般的です。このような場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

重大な副作用	主な自覚症状
依存性 いぞんせい	薬がないとられない、薬を中止すると手足がふるえて不眠・不安・けいれん・幻覚などを起こす
刺激興奮 しげきこうふん	意識が乱れる、正常な思考ができない
錯乱 さくらん	意識が乱れる、意識の混乱、考えがまとまらない

以上の自覚症状を、副作用のあらわれる部位別に並び替えると次のとおりです。これらの症状に気づいたら、重大な副作用ごとの表をご覧ください。

部位	自覚症状
頭部	意識が乱れる、意識の混乱、考えがまとまらない
その他	薬がないとられない、薬を中止すると手足がふるえて不眠・不安・けいれん・幻覚などを起こす、正常な思考ができない

【この薬の形は？】

販売名	エリスパン錠 0.25mg
PTP シート	
形状	素錠 
直径	6mm

厚さ	2.6m
重さ	80mg
色	白色
識別コード	❖017

【この薬に含まれているのは？】

販売名	エリスパン錠 0.25mg
有効成分	フルジアゼパム
添加物	乳糖水和物、トウモロコシデンプン、ポリビニルアルコール(部分けん化物)、硬化油

【その他】

●この薬の保管方法は？

- ・室温（1～30℃）で保管してください。
- ・子供の手の届かないところに保管してください。

●薬が残ってしまったら？

- ・絶対に他の人に渡してはいけません。
- ・余った場合は、処分の方法について薬局や医療機関に相談してください。

【この薬についてのお問い合わせ先は？】

- ・症状、使用方法、副作用などのより詳しい質問がある場合は、主治医や薬剤師にお尋ねください。
- ・一般的な事項に関する質問は下記へお問い合わせください。

製造販売会社：大日本住友製薬株式会社

(<http://www.ds-pharma.co.jp/>)

くすり情報センター

電話：0120-885-736

受付時間：9時～17時30分

(土、日、祝日、その他当社の休業日を除く)